

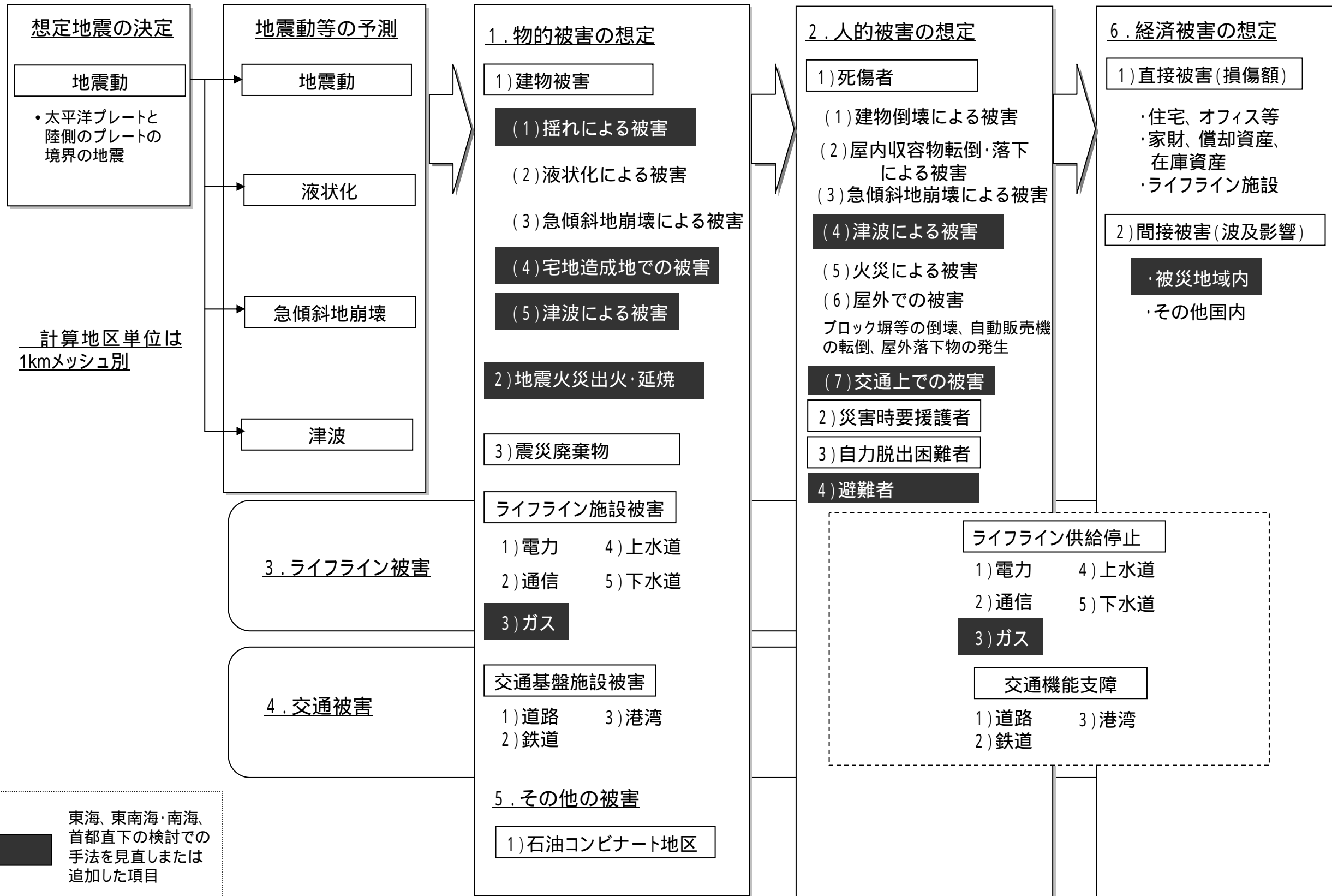
中央防災会議  
「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」  
第11回

**日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る被害想定の概要（案）**

平成17年8月19日

中央防災会議事務局

# 被害波及の概要図(案)



# 津波被害シナリオ(時系列) (案)

- 陸域で震度6程度の強い揺れによる被害が発生し、数分～1時間以内に津波が到達する場合 -

地震発生、津波発生

沿岸域へ大きな波が到達

繰り返し津波到達

津波収束

地震動、液状化、急傾斜地崩壊

津波警報発令

沿岸域へ到達

陸域への遡上

波が引く

津波の追加情報

津波警報解除

救助・救援活動開始

## 物的被害機能支障

・建物が損壊( )  
・避難所が損壊( )  
・道路や鉄道が損壊( )  
・ライフライン施設(電気、ガス、水道、通信)が被災( )

・瓦礫発生( )  
・ライフラインの供給停止や機能支障( )  
・道路の寸断( )  
・電車の脱線や停止( )  
・火災発生( )  
・警報により、交通機関やサービスの停止

沿岸域

・防潮堤・水門・陸こう等の損壊  
・建物の浸水・倒壊  
・臨海部の危険物施設等(石油コンビナート等)が被災  
・コンテナ、自動車等が被災  
・地盤が洗掘されて道路や鉄道が被災  
・河川遡上により破壊力増大  
・下水口などからの逆流  
・地下街への浸水

・漂流物が建物等を損壊し、さらに漂流物が増加  
・危険物の漏洩、備蓄燃料等の流出  
・地下街の機能停止

・道路等に瓦礫が散乱  
・危険物への引火、建物損壊によりさらなる出火

・火災発生、延焼拡大

海域

・船舶が被災  
・養殖施設、貯木所が被災  
・港湾・漁港が被災  
・防波堤が被災  
・農業用地が浸水

・漂流物が堤防等の海岸構造物を損壊、さらに漂流物が増加  
・危険物の漏洩、オイルの流出  
・流水が堤防等の海岸構造物を損壊(冬季)  
・海上交通の機能支障

・船舶が座礁  
・可燃物が海へ流出  
・漂流物により港湾の機能停止

・海洋の汚染

## 人的被害行動支障

・意識の高い人は避難開始  
・建物崩壊により屋内で多くの自力脱出困難者が発生( )  
・ブロック塀の崩壊等により屋外で自力脱出困難者が発生( )  
・電車内の閉じ込め等により自力脱出困難者が発生( )

・津波警報により避難開始  
・通信の断絶等により津波警報がなかった場合、避難をしない人が多数 死者がさらに多数発生  
・交通規制が行われな

沿岸域

・海岸にいて避難できなかった人(海水浴客等)が被災

・逃げなかった人が被災  
-意識の低い人が被災  
・逃げられなかった人が被災  
-自力脱出困難者  
-自力脱出困難者を救出しようとして逃げられなかった人  
-津波情報が得られない人(通信断絶、警報が理解困難な外国人等)  
・逃げ遅れた人が被災

・第1波で助かった人が被災  
-第1波より大きい波で被災  
-家に戻った人が被災  
・波にさらわれて行方不明者が発生

・津波に流された人の救助  
・孤立した住民の救助

・道路や鉄道の寸断により集落が孤立( )

海域

・漁港や港湾にいた船主や漁業関係者が被災

・海域にいた人(漁業関係者やサーフィン中の人等)が被災

地域条件

・到達が早く、避難に猶予のない地域の人  
・急傾斜地で避難が困難な地域の人  
・瓦礫が多く道路が閉鎖するなど避難が困難な地域の人( )  
・積雪や凍結の影響で避難が困難な地域の人(冬季)

滞留者特性

・高齢者、身体障害者、負傷者、その土地に不慣れな人

地域防災力

・避難所の整備が不十分な地域の人  
・交通規制が不十分で危険地域に入ってしまった人  
・車で逃げ道路渋滞に巻き込まれた人

( )大きな揺れを伴わない津波地震の場合、この段階では、被害の発生は限定的。